

発行日 平成27年12月14日

Nougyou Nounon

いしのまきNN通信



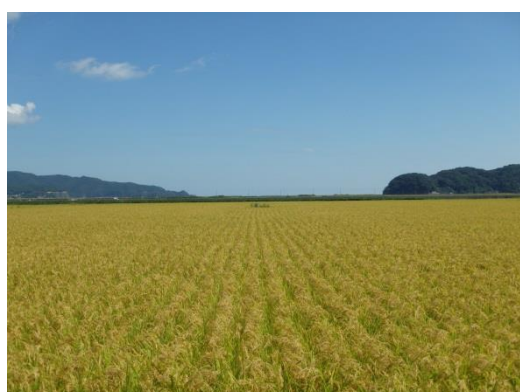
トヤケ森から望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら農村振興班までご一報ください。今後ともよろしくお願いいたします。

大川地区長面工区 実証田の生育状況



第32号の目次:

▲大川地区長面工区 水稻の生育状況
(平成27年9月)

残る2haに作付けされた大豆の収穫は12月以降を見込んでいます。

長面工区については、平成28年度から新たに7.2haが営農再開を予定しており、平成27年度に営農再開した6haと合わせて7.8haでの営農再開となります。

長面工区では地下水位や塩分濃度、作物の生育状況等の継続的な調査が行われており、平成28年度の本格的な営農再開以降もこれまで収集した情報を活用していきます。

平成27年度、5年ぶりに営農を再開していた石巻市大川地区長面工区で、10月に無事、稲刈りが行われました。

長面工区では、平成26年度に復旧農地の一部で水稻の試験栽培を行い、平成27年度から6haの実証田で営農を再開しています。

営農を再開した6haのうち、4haには水稻が作付けされましたが、懸念されていた塩害や生育不良等も確認されませんでした。

▲大川地区長面工区 大豆の生育状況
(平成27年9月)

大川地区 長面工区 実証田の生育状況	1
農地集積戦略会議の開催	2
集落営農育成に関する研修会	
奥松島地域営農再開実証 プロジェクト	3
田んぼの学校 2015	4

平成27年度 農地集積戦略会議の開催

当部では、ほ場整備事業による一体的な農地の利用集積を効率よく進めるため、石巻地域農地集積指導チームを組織し、各ほ場整備地区毎の集積に関する状況や課題点の整理を行っています。

平成27年度は、ほ場整備事業に取り組む管内14地区を対象に、平成27年7月28日から8月30日にかけて第1回農地集積戦略会議を、平成27年10月30日から11月6日にかけて第2回農地集積戦略会議を開催しました。

この戦略会議は、石巻地域農地集積指導チームに加えて、関係市・JAいしのまき・土地改良区等の関係機関が一堂に会し、農地集積推進に向けて、現地課題を検討する場となっています。

地区によっては、担い手農業者（個別＋組織）にも出席を求め、現在抱えている課題や意見を直接聞き取りました。

聞き取った内容は今後の農地集積推進活動に役立てていきます。



▲各ほ場整備地区における農地集積戦略会議の様子

平成27年度 集落営農育成に関する研修会

平成27年8月28日、石巻市河北総合センター・ビッグバンにて、県と石巻市が共催で「平成27年度集落営農育成に関する研修会」を開催しました。

この研修会の目的は、法人化を目指している集落営農組織が先進事例からそのノウハウを学ぶことです。

事例紹介では、農事組合法人館島田生産組合の小野代表（角田市）と農事組合法人たてファーム・和の伊藤代表（石巻市）が、ほ場整備地区の担い手として法人化を決断した経緯や組織運営の役割分担、経営上の目標等について説明を行いました。

他地区の担い手にとっても関心が高いテーマであるため、70名（農業者33名、関係機関37名）の出席を得て、質疑応答や意見交換も活発に行われ、研修会は盛会のうちに終了しました。



▲館島田生産組合 小野代表理事による事例紹介



▲たてファーム・和 伊藤代表理事による事例紹介



▲活発な質疑応答・意見交換が行われました

平成27年度 奥松島地域営農再開実証プロジェクト

東日本大震災の被災地区である奥松島地域において、平成26年度から引き続き「奥松島地域営農再開実証プロジェクト」として営農再開に向けた試験が行われています。

東松島市野蒜地区 洲崎(大豆:枝豆)

平成27年9月25日、東松島市野蒜地区洲崎で試験作付けされていた大豆の収穫が行われました。

今回収穫されたのは、営農再開後の販売作物として見込まれている茶豆です。

収穫作業は東松島市、鳴瀬土地改良区、JAいしのまき、東名・洲崎地域の農地を考える会、当事務所などの奥松島地域営農再開実証プロジェクトメンバーによって行われ、収穫された茶豆は枝豆として関係者に提供されました。

同時期に作付けされたミヤギシロメについては、完全に乾燥する12月頃に収穫を予定しています。



▲洲崎地区 茶豆収穫の様子

東松島市宮戸地区(さつまいも)

平成27年10月19日、東松島市宮戸地区で試験作付けされていたさつまいもの収穫が行われました。

今回試験作付けされていたさつまいもは「紅あずま」と「安納芋」の2種類です。

収穫作業は奥松島地域営農再開実証プロジェクトメンバーによって行われ、収穫されたさつまいもは地域の方々に提供されました。



▲宮戸地区 さつまいも収穫の様子

東松島市野蒜地区 洲崎(水稻:乾田直播)

平成27年10月20日、東松島市野蒜地区洲崎の乾田直播試験田での稲刈り作業が行われました。

作業は奥松島営農再開実証プロジェクトメンバーによって行われました。

作業後に収量を確認したところ、390kg/10aでした。

野蒜地区洲崎では全農地約80haの農地が被災しており、平成28年度から約40haが営農再開を予定しています。

今回の試験結果を基に、乾田直播の方式を選択した際の地下水位や塩分濃度が与える影響等を調査・分析し、そのデータを平成28年度の営農再開に反映する予定です。



▲洲崎地区 稲刈りの様子

田んぼの学校 2015

東部管内では、土地改良区や多面的機能支払交付金活動組織などが協力し、小学生に対して農業に関する体験学習等を行っています。

田んぼの生きもの調査

田んぼの持つ多面的機能のうち、主に生きものが育つ環境を維持する役割について、田んぼの生きものを調査することで実感してもらうために開催されています。

平成27年度は、石巻市河南地区で多面的機能支払交付金に取り組んでいる前谷地ふるさと保全会広域協定と北村ふるさと保全会広域協定が河南矢本土改良区と協力し、それぞれ前谷地小学校、北村小学校の5年生を対象として生きもの調査及び水道水と田んぼの用排水の水質比較を実施しており、当部からも生きもの解説役として参加しています。

また、石巻市北上地区で多面的機能支払交付金の活動に取り組む北上地区保全会でも、北上川沿岸土地改良区や地域の復興JV（建設企業のグループ）、県内外で農業と環境保全の調和に向けて活動しているナマズのがっこう等と協力し、北上小学校2年生を対象に生きもの調査を実施しています。

農業水利施設見学会

田んぼの水の出入りを補助し、雨水等の排水も担っている農業水利施設の役割と、その管理者である土地改良区の仕事に関して理解してもらうために開催されています。

平成27年度は、石巻市河南地区で多面的機能支払交付金に取り組んでいる前谷地ふるさと保全会広域協定、鹿又ふるさと保全会広域協定、須江ふるさと保全会広域協定が河南矢本土改良区と協力し、それぞれ前谷地小学校、鹿又小学校、須江小学校の5年生を対象として実施しており、当部からも見学会の前に行く出前講座の担当として参加しています。

また、生きもの調査同様、北上地区保全会でも、北上川沿岸土地改良区や地域の復興JV、ナマズのがっこう等と協力して北上小学校5年生を対象に農業水利施設見学会を実施しています。



▲生きもの調査の様子
(北村小学校5年生)



▲和瀨揚水機場 取水口前
(前谷地小学校5年生)



▲曾波神排水機場内
(須江小学校5年生)

一日も早い災害復旧と

地域復興をめざして

宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部

(編集：農村振興班)

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32

Tel 0225(95)1411 (内) 489 Fax 0225(96)4880

E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.jp

URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-ns/>